

ライブ毎刊びゃっきープレス

2005

無料配布

あたりまえ

1 月 9 日号  
ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟  
http://www.satram.jp/byacky/  
byacky@satram.jp  
配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

byacky press



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要  
http://www.satram.jp/  
info@satram.jp

# びゃっきー

先年 12 月にびゃっきーは大阪で行われるいとこの結婚式に出席するため、関西へと足を運んだ。前日から現地へ赴いたが、直接大阪ではなく、和歌山県の高野山へ赴き、心身ともに磨きをかけるため修行を行った模様。一段と高みへ昇ったびゃっきーの新年ライブは 1 月 9 日に行われる。

初めての  
高野山



# 修行の効果は 1 月 9 日に

## 到着は 16 時ごろ

霊験あらたかな高野山へと足を踏み入れたびゃっきー。彼にとっては初めての高野山。同じ天下を目指す人間として、戦国時代の武将の墓などをお参りしないわけにはいかない。宿坊への到着は夕方四時を過ぎた頃だったが、素早い決断で奥の院へ向かった。明かりもあまりない奥の院は、しばらくするとほとんど真っ暗となった。道の両側にはお墓が 2 キロに渡って並んでいる。さしずめ肝試しのようであった。

「ちょっと腰が痛くなったので、障られたかと思って少しビビりました。もともと腰痛持ちなんで偶然だ

# 修行で解脱

とは思いますが。その後は特に問題もなく、宿坊まで戻りました」

宿坊の部屋は少々不思議な作りになっていて、さ

すがのびゃっきーもびっくり。「一見押入れなんですけど、反対のふすまを開けると通路なんです」

翌朝は当然のように朝早くから起床し、お寺の朝のお勤めに同席し、住職からありがたいお言葉をいただいて、心安らかに下山した。

「ケーブルカーがとても急で恐かったです。ケーブルが切れて勢いよく下ってしまったら、衝撃に備えて、反対に向かって飛ぼうと身構えていました」

解脱したびゃっきーが天下を取るのを、筆者は楽しみに待っている。  
(哀戦士)

びゃっきー「宿坊は寒いかと思いましたが、暖房もコタツもあってよかったです。精進料理も初めて食べましたが、とてもおいしかったです。また行ってみたいと思います」



押入れかと思いきや反対側は通路に。この先にトイレと風呂場がある。